

令和7年10月入学/令和8年4月入学（第1期）

地域創生科学研究科博士前期課程入学試験問題

科目名 農地環境保全学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 農業土木学プログラム
----------------	---

1. 環境保全型農業（持続的農業）について簡潔に説明せよ。
2. 水田での稲作における湛水，代かき，排水の意義について，それぞれ説明せよ。
3. 畑地における水食のプロセスや形態について，下記の語句を含めて説明せよ。
雨滴侵食，面状侵食，リル侵食，ガリ侵食
4. 下図の持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために，農地環境保全学や農地工学がどのように貢献できるかについて，下に示した解答例を参考にして，それ以外の事例を1つ説明せよ。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

図 持続可能な開発目標（SDGs）（国際連合広報センターホームページより）

【解答例】

貢献する目標：目標3，目標11

風の強い地域では，農地の土壌が巻き上げられ土埃となり，人の健康や地域の生活環境に悪影響を与えてしまうことがある。黄砂やPM2.5（微小粒子状物質）のように，微細粒子が国境を越えて飛来することも問題となっている。風食は風の強さ，土壌の性状，地上部の被覆の状態などでその程度が異なるので，それらの因子と風食量の関係を明らかにして，有効な改善策を提案することができれば，「すべての人に健康と福祉を（目標3）」や「住み続けられるまちづくりを（目標11）」の達成に貢献できる。